2026
11
Vol. 119

Monthly Report of Faculty of Architecture

東北工大建築学部通信

Since 1966-2020->>>

発行：東北工大建築学部　学部長　船木 尚己

Pick Up News

建築学科の研究室があった5号館の解体からしばらくが経ち、現在は新棟の基礎工事が終わり、いよいよ建物本体の工事が始まっています。更地だった場所に少しずつ建物の姿が現れてくるのを見ると、新しい学びの環境が形になっていくことを実感します。工事に伴い、隣接する6・7号館では振動や騒音が気になることもありますが、教職員や学生の皆さんには、日々ご理解とご協力をいただき、感謝しています。4年生や大学院M2の学生にとっては、卒業論文（設計）や学位論文（設計）の完成に向けて、研究や設計に力を注ぐ大切な時期を迎えています。研究環境にさまざまな制約がある中でも、学生たちはそれぞれの目標に向かって日々取り組んでいます。5号館の解体から新棟の建設へと移り変わる様子を間近で見られることは、建築を学ぶ私たちにとって、教室では得られない貴重な経験でもあります。仮設の研究室での生活はもうしばらく続きますが、新しい学びの環境が整う日を楽しみにしながら、学生とともに前向きに過ごしていきたいと思います。

@TOHTECH_ARCH

10月現在のフォロワー数は1,150人。皆さんの積極的なフォローをお願いします！

― 未来のエスキースを描く ―
卒業論文・設計の中間発表会を開催しました

来年1月の提出、2月の最終審査に向けて、建築学部4年生を対象とした卒業論文・卒業設計の中間審査会が開催されました。当日は多くの先生方が参加し、学生の発表に対して活発な質問や意見が交わされました。学生たちにとって、自分の研究や設計を改めて見つめ直し、新たな課題や可能性を発見する貴重な機会となりました。中間審査を経て、それぞれが描く「未来のエスキース」は、さらに具体的な形へと進んでいきます。これから約3か月間、先生方からいただいた助言や指摘を生かしながら、研究を深め、設計を練り上げ、より完成度の高い論文・作品を目指していきます。2月の最終審査で、学生一人ひとりがどのような成果を生み出すのか、今から楽しみです。以下、中間審査を終えた学生の感想を紹介します。

-- 学生の感想 --

中間審査では、想定していた以上に多くの指摘をいただき、これまでの取り組みを見直す必要があることに気づきました。先生方からいただいたご意見を参考にしながら、残された期間で研究をさらに深め、納得のいく卒業論文に仕上げたいと思います。



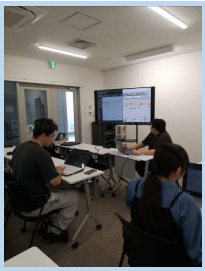
研究も資格も全力で！
大学院生が一級建築士試験（学科）に合格

一級建築士は、建築に関する幅広い知識に加え、高度な設計力が求められる難関資格です。昨年度の学科試験の合格率は26.2%、一昨年度は16.5%と、合格へのハードルは決して低くありません。そんな難関を乗り越えたお二人、本当におめでとうございます！大学院での学びや研究活動と並行して努力を重ね、見事に合格をつかみ取ったお二人の、今後ますますの活躍を期待しています！ここからは、合格した大学院生に、試験勉強のことや合格した今の気持ちなどを聞いてみました！ぜひ、コメントをご覧ください！

大学院での研究活動と試験勉強の両立は決して簡単ではなく、時には睡眠時間を削って勉強に取り組むこともありました。それでも、限られた時間の中で日々学習を積み重ね、合格につなげることができました。一級建築士試験は出題範囲が広く、短期間で知識を身につけることは難しいと感じました。そのため、これから受験を考えている皆さんには、無理のない学習計画を立て、早い時期から継続的に勉強を進めることをおすすめします。来年度は社会人として製図試験に挑戦することになりますが、今回の経験を生かし、資格取得に向けて引き続き努力していきたいと思います。（船木研究室所属・博士前期課程2年・K. Oさん）

Pick Up Lab.

大石研究室は現在の3年生の配属で8期目となりました。近年、外部の協力者の方と研究に取り組む機会が増えてきました。大石研究室では、大きく2つのアプローチで研究を行っています。1つ目はデータロガーなどを使った計測です。今年度は、2年前から取り組んでいる文庫蔵、鉄道車両の工場、床冷暖房システム稼働時の室内環境など、さまざまな環境の計測に取り組んでいます。2つ目はコンピュータを用いた室内環境の検討で、RhinocerosとGrasshopperを利用した環境シミュレーションに取り組んでいます。環境系ゼミに興味のある方は、ぜひ研究室に遊びに来てください。



覚醒同士で演習中





地中熱の技術を見学（ミサワ環境技術）



2年 N. K さん
常盤木学園高校 出身

Pick Up Student

大学で建築について学ぶ中で、設計や構造、環境など、さまざまな分野に触れ、建築の奥深さを感じています。授業では専門的な内容も増え、難しいと感じることもありますが、新しい知識を身につけていくことに面白さを感じています。また、最近研究室に配属され、これまでの授業とは違った学びが始まりました。まだ分からないことも多く、これからどのような活動をしていくのか楽しみな反面、少し不安もあります。先生や先輩方から多くのことを学びながら、自分の興味や関心を深めていきたいです。今後は研究室での活動にも積極的に取り組み、大学生活の残りの時間を大切にしながら、自分自身の成長につなげていきたいと思います。



2年 R. O さん
仙台工業高校 出身

Pick Up Student

講義の中で私は建築設計が1番好きです。自分で考えて設計し、その成果が評価されるとモチベーションに繋がります。また自分なりにどのように周りと差別化するか（敷地調査を人一倍調査したり、自分の美学を建築に落とし込んでみたりなど）を考えることも楽しいです。資格では1年生の時に二級建築士の学科試験に合格しました。2年生になると課題等で忙しくなるので受験は1年生がおすすめです。1年生だから資格はまだ大丈夫と周りに流されず強い志を持つ事が大事だと思いました。そして、私は卒業後の進路として母校で建築科の教員になりたいと考えています。まだまだ学びたい事が沢山あるので時間を大切に残りの約2年間を過ごしていきたいと思います。